

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ホーム全体における(介護度)重度化の中で、伴ってご利用者様おひとりお一人の想いや願いが表出されにくくなることが懸念され、課題として挙げられる。	想いの把握について、日頃の関わりから推測し検討している現状に加え、ホームで暮らされていく中で、生きがいであったり生きることの目標が少しでもあることで、限られた環境下における状況も、受けとめていただけのではないかと考えた。	日々の支援は重度化に伴う程に、日常生活基本動作支援が軸とならざるを得ないので、意識的にもお一人ひとりの想いに着目して、ご家族様の意向(代弁)も伺いながら、主に課題分析シートへ反映できるように取り組む。	6～12ヶ月
2	26	ご利用者様ごとの介護サービス計画に基づき日々の支援を行っていく上で、当該計画書の記載内容も様々、見直しや変更も多く、職員間での把握認識が希薄しないよう課題として挙げられる。	ご利用者様ごとの介護計画サービス内容を把握する必要性は当然にも、多くの記載内容の中から、特には重点項目について、継続的な意識化(共有化)を図りたいと考えた。	ご利用者様ごとの各担当介護士が、介護サービス計画書の中から重点項目を抽出して、ユニット会議において提示する。9名分を集約して、毎日閲覧確認する。如いては確実な計画実行へもつなげる。	1～6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。